

令和5年12月7日

令和5年第4回桂川町議会定例会

## 行政報告及び提案理由の説明

おはようございます。

早いもので、今年も残すところ3週間余りになりました。今年は夏の暑さが尾を引いて影響し、さわやかな秋晴れの期間があっという間に過ぎ去り、急に冬が来たように感じているところです。

国の内外における状況は、依然として厳しいものがあり、特に、ロシアのウクライナ侵攻に加え、イスラエルのガザ地区の攻撃など国際社会を不安にさせる要因が拡大しています。

一方、内政面においては、物価高騰の対策や異次元の少子化対策が打ち出されているものの内閣支持率は低下するなど先行き不透明な状況にあります。

さて、本日は、令和5年第4回桂川町議会定例会を開催しましたところ、議員の皆様には、公私とも大変お忙しい中にも拘わりませず、ご出席をいただき心から感謝申し上げます。

それでは、これまでの主な行政報告及び本日提案します議案等の提案理由についてご説明いたします。

はじめに、人事院は本年8月に民間給与との平均較差0.96%、金額にして月額3,869円を解消するため、国家公務員の給与及び期末・勤勉手当の引き上げを勧告しました。給与面では若年層に重点を置いて高卒の初任給で12,000円、大卒で11,000円引き上げるとともに年代ごとに昇給幅の調整を行い、手当については0.1月分を引上げ、期末及び勤勉手当をそれぞれ0.05月分増額するものです。

本町では、人事院勧告に伴う職員の給与に関する条例の一部改正案を本議会に上程していますのでよろしくお願い致します。

次に、ふるさと応援寄附金事業については、総務省の「ふるさと納税の次期指定に向けた見直し」により、10月からルールが一部変更され、これまで寄付金募集費用の対象外とされていたワンストップ特例事務費や寄附金受領証の発行費用等も含めて寄附額の5割以下に抑えることとなりました。

つまり、従来と同じ寄附金額の場合は返礼品の量を減らすか、もしくは

量は同じで寄附金額を引き上げる必要があります。

本事業は、町の自主財源の確保に直結するとともに、地域経済の活性化に資する有用な施策でありますので、新たな取り組みについても積極的に進めて参りたいと考えています。

なお、11月末現在の状況は、件数で3,454件、寄付額は37,943千円です。

次に、11月29日に成立した国の補正予算において、物価高騰の影響を受けている生活者や事業者に対し、地方自治体が地域の実情に合わせて必要な支援ができるよう『重点支援地方交付金』が措置されました。この対象事業として、住民税非課税世帯等に1世帯あたり7万円を給付する『低所得者支援枠』と、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対し支援を行う『推奨事業メニュー』の2事業が示されています。

しかしながら、本議会の日程上、今回の補正予算案に計上することが出来なかったため、国の方針に沿って「年内の予算化」に向けた作業を進め、専決処分に対応したいと考えています。

次に、町誌編さんについては、その基本方針や編さん計画の策定について、委託業者からの提案やアドバイスを受けつつ、桂川町誌編さん事業準備委員会にて、内容を詰めているところです。

具体的には、町誌刊行までのスケジュールの設定や編さん事業を推進していく態勢、桂川町の概要や歴史の変遷、行政分野の政策や住民の暮らし、王塚古墳等についての表記に関する全体構成などの協議を行い、来年度からの本格的な町誌編さん事業を推進したいと考えています。

また、実際に編さんを行う上で、まちづくりに関わってこられた方々にも様々な分野から幅広くご意見を伺うとともに、各種資料の収集作業に資するための県立図書館・県公文書館等の視察や、収集した写真・資料等をデータベース化して整理・活用出来る方法の構築について検討・協議しているところです。

次に、7月の豪雨により町道笹尾2号線において、大規模なブロック崩壊が発生し、その対応について国・県と協議してまいりました。災害復旧工事の計画策定に当たり、地元の住民の方のご意見等もいただき、11月に公共土木施設災害復旧事業の査定を受け、国の補助事業として承認されました。

このことにより、工事に着手する準備が整いましたので、年度内の事業

として取り組んで参ります。関係者の皆様には長期間にわたりご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

次に、国民健康保険税の一部改正については、子育て世代の負担軽減、次世代育成支援の観点から、出産される被保険者の産前産後期間相当分の保険料を減免する措置が創設されました。

減免措置の内容は、出産被保険者の出産予定の前月から出産予定の翌々月までの期間における所得割額・均等割額を減額し、負担の軽減を図るものです。

次に、福岡金属興業株式会社の産業廃棄物処理施設については、9月議会の行政報告以降、報告事項は特にありません。

次に、ふくおか県央環境広域施設組合が新たなごみ処理施設の建設候補地としています地元・九郎丸区との協議については、去る10月22日に開催された同区の臨時総会において、「今後、九郎丸区からの要望事項に対し、双方で協議の上、反映していくこと」を条件として、施設の建設計画を進めることに同意がなされました。

本町に取っても重要な案件であり、九郎丸区及び施設組合との連携を密にしながら取り組んでまいります。

次に、嘉穂総合高校との連携については、高校関係者、農業関係者、商工会等で意見交換会を開き、今後の活性化に向けて取り組んでいくことを確認したところです。

次に、プレミアム付き商品券の販売状況は、11月末日現在で、従来の紙券による「よかーけん」は、10,400冊のうち10,389冊(99.9%)が販売され、今回新たに導入した「電子よかーけん」は、2,600冊のうち1,826冊(70.2%)が販売されています。利用期限は、いずれも来年の1月12日までです。

今回、県の政策として「電子よかーけん」の発行が条件として付けられましたが、本町では、対応できる商店、事業所の不十分さが感じられ、今後の課題だと認識しています。

次に、待機児童の解消対策として「就学前教育・保育施設整備交付金」を活用し取り組んでいます、町内保育施設整備事業の進捗状況について報告します。

まず、令和4年4月に民営化しました社会福祉法人 明見会「吉隈保育園」の移転及び新園舎建設については、令和6年3月に着工され、令和7年1月竣工、令和7年2月開所予定と聞いています。なお、運営形態を「保

育園」から「認定こども園」に変更される計画です。

また、学校法人 了専寺学園新設の小規模保育施設「まめだ保育園」は、0歳から2歳児を対象とする保育施設で、現在建設中です。令和6年3月竣工、同年4月開所予定と聞いています。

次に、町立土師保育所については、桂川幼稚園と土師保育所を統合する幼保連携型の「認定こども園」を念頭において、新園舎建設に関する基本計画を策定中です。物価高騰の時期であるとともに、子ども・子育ての関連法案や子ども家庭庁の動向など、様々な課題がありますが、目標スケジュールとして、令和6年度に基本設計及び実施設計を行い、令和7年度に建設工事に着手し、令和8年4月の開園を目指して取り組んでいきたいと考えています。

次に、水道事業については、一部の地域において「濁り水」が発生しており、利用者の皆様には大変ご迷惑・ご心配をお掛けし申し訳なく思っています。

現在、様々な手を尽くして対応に当たり、問い合わせ等の件数も減少していますが、完全に解決するまでには至っておりません。1日も早く解決できるよう万全を期してまいりますのでご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

次に、王塚古墳の特別公開は、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、従来の方法で実施しました。10月14日（土）、15日（日）の特別公開では、関東、関西圏をはじめ、日本全国から二日間で1,760人の見学者を迎えました。また、同日開催の「王塚古墳まつり」は、天気にも恵まれ、大変盛況でした。

町のシンボルである王塚古墳の保存と活用について、積極的に取り組んでいきたいと考えています。

次に、補正予算については、議案4件を上程しています。

このうち、一般会計では第4号の補正をお願いしています。補正額1億8,504万6千円を追加し、予算の総額を65億5,620万5千円に定めようとするものでございます。

補正予算の主なものは、歳入では、11款・地方交付税において、普通交付税を財源調整により7,893万円追加計上しています。なお、普通交付税は、国の補正予算において増額交付が予定されており、当初の決定額と追加見込額の合計19億9,738万7千円が本年度の交付見込額となり、このうち19億3,230万7千円を予算計上していますので、補

正後の留保財源額は6,508万円となります。

次に、15款・国庫支出金では、障害者自立支援給付費国庫負担金及び障害児通所支援給付費国庫負担金や、町道新町・狩野線道路改良に係る社会資本整備総合交付金の追加分を計上しています。

16款・県支出金では、国庫支出金と同様の障害者自立支援及び障害児通所支援給付事業に係る県負担金のほか、堆肥利用拡大によるワンヘルス推進事業費県補助金を、21款・諸収入では、電算システムの標準化対応に係るデジタル基盤改革支援補助金、22款・町債では、県施工の七浦ため池改修事業費の町負担分に係る防災重点農業用施設整備事業債や町道笹尾2号線に係る公共土木施設単独災害復旧事業債などを追加計上しています。

一方、歳出予算では、職員人件費について、人事院勧告による給与改定等に伴い、関係費目の整理をしています。

個別の案件では、2款・総務費において、本町地域イントラネット基盤施設の老朽化に伴う光伝送路の改修工事費を、3款・民生費では、歳入側で触れました障害者自立支援給付費及び障害児通所支援給付費の増額分や国が定める「こども大綱」に基づくこども計画策定準備調査業務委託料のほか、土師五納骨堂雨漏り修繕工事費を追加計上しています。

4款・衛生費では、コロナワクチン接種副反応に係る予防接種健康被害給付費補助金や健康管理システムの電算システム標準化に係る健康管理業務標準化対応調査・分析業務委託料を、6款・農林水産業費では、堆肥利用拡大によるワンヘルス推進事業補助金や七浦ため池改修事業に係る防災重点農業用施設整備事業負担金を追加計上しています。

8款・土木費では、県道豆田稲築線の町移管に係る道路台帳作成業務委託料や対象路線の一部廃止に係る都市計画道路変更支援業務委託料、9款・消防費では、飯塚地区消防組合負担金、10款・教育費では、王塚装飾古墳館の空調設備中央監視装置老朽化に伴う更新工事費などの追加計上を行っています。

以上が一般会計補正予算の主な内容でございます。

なお、本日もご提案します議案は、桂川町教育委員会委員の任命に関する同意案件が1件、条例改正に関するものが2件、令和5年度補正予算が4件の計7件でございます。

人事案件につきましては、私から、その他の議案等につきましては、担当課長が説明いたしますので、慎重審議のうえ、議決賜りますようお願い

申し上げます、行政報告及び提案理由の説明とさせていただきます。  
どうぞよろしくお願いいたします。